

第5章 【家庭と連携し、子供が自ら取り組む家庭学習〈子供編〉】実践例

授業の補充問題や発展問題を家庭学習とリンクさせ、家庭学習の質の向上を目指す取組

～宇城市立豊野小学校～

家庭学習において「とよのっ子ドリル」等を活用し、学校と家庭が一体となり、授業内容とリンクさせ、学習内容の定着が図られるように取り組んでいる。

とよのっ子ドリル

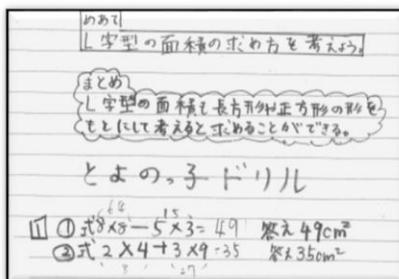
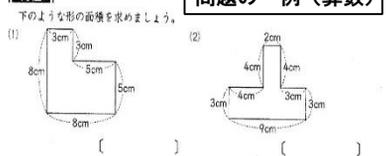
3・4年生用



と：問いを発する力
よ：よく考え、学び合う力
の：望ましい未来を創る力

年 名前

問題の一例（算数）



授業において、終末段階の多くで適用問題を行っています。その中には、補充的・発展的な問題も用意しており、家庭学習の個別化につながるようになっています。

また、県学力・学習状況調査の課題克服プリントや全国学力・学習状況調査の過去問題等を単元別にまとめた「とよのっ子ドリル」を、授業の内容の徹底と補充だけでなく、家庭学習としても有効活用し、学習内容の定着につなげています。

第5章 【家庭と連携し、子供が自ら取り組む家庭学習〈子供編〉】実践例

家庭学習（自主学習ノート）における、学びの連続性を確保するための小中連携した取組

～小国町立小国小学校・小国中学校～

家庭学習の内容が充実している自主学習ノートを模範として校内に掲示している。特に上級生のノートを下級生が確認することで、家庭学習のポイントやノートのまとめ方の工夫を学ぶことができている。児童生徒が家庭学習の取組に見通しを立て、計画的な実施により効率的に学習できるよう、小学校と中学校が連携して取り組んでいる。



【廊下に「おぐにっ子ノート」を掲示】

小中一貫した家庭学習を推進するために、家庭学習ノートのまとめ方を統一し、学びの連続性を確保する取組を行っています。

ノートに書く項目は、授業で学んだ内容はもちろん、その日の家庭学習における「めあて」と「振り返り」を記載する等、自己の学びを振り返る家庭学習ノートとなっています。

翌日の学校生活への見通しや計画を立てるために、時間割や準備物等を記載できる枠も設け、一日の生活を振り返るノートとしても活用しています。

第5章

【家庭と連携し、子供が自ら取り組む家庭学習〈子供編〉】実践例

児童の学びを支える、家庭学習習慣や読書習慣の意識付けを図る取組 ～益城町立津森小学校～

学習環境の整備、日常生活や学習規律、家庭学習の手立て等について、小学校から中学校の9年間を系統的、段階的に位置付け、木山中学校区全体で共通実践を進めている。

『四賢デー』～「0」のつく日は、ノーマディア・読書デー～(低)									
ねん なまえ()									
月	日	曜	ノーマディア		どくしょ		かていがくしゅう		保護者サイン
			00 200 400 600	800 100 1200 1400	かていがくしゅう		時間		
第1回	10	木	◎○△×	◎○△×	べんきょうしたこと		時間	40分	
第2回	30	水	◎○△×	◎○△×	おしやくたいのあひだり		時間	35分	
第3回	8	30月	◎○△×	◎○△×	おしやくたいのあひだり		時間	35分	
『四賢デー』～「0」のつく日は、ノーマディア・読書デー～(高)									
5年 名前()									
月	日	曜	ノーマディア		読書		家庭学習		保護者サイン
			00 200 400 600	800 100 1200 1400	かていがくしゅう		時間		
第1回	10	木	◎○△×	◎○△×	漢字プリント音読		時間	20分	
第2回	30	水	◎○△×	◎○△×	読書の楽しさを伝える		時間	1分	
第3回	8	30月	◎○△×	◎○△×	読書の楽しさを伝える		時間	35分	
第4回	10	金	◎○△×	◎○△×	読書の楽しさを伝える		時間	35分	

津森小学校（木山中学校区）では、「家庭学習の充実」、「読書活動・ノーマディアデーの推進」を共通実践しています。

家庭学習や読書の習慣を意識付ける取組とメディアコントロールの取組を関連付け、家庭と連携し継続的に取り組んでいます。児童が記録カードに取組状況を記録し、保護者の確認や担任のコメントにより、児童の実態を把握し、意欲を高めています。

学校では記録の集計と職員間での結果の共有を行い、児童や学級の状態を確認し、新たな手立てを講じていきます。